



The Singular Santiago

ザ・シンギュラー サンティアゴ「The Singular Santiago」は、サンティアゴの旧市街と新市街の接点、お洒落なラスタリア地区に瀟洒な邸宅といった雰囲気で行んでいる。サンティアゴで唯一のLHW加盟ホテルで、極めてクオリティーの高いブティックホテルとしての独自性が際立つ



メインダイニング「Restaurant The Singular」はパリの高級ビストロを思わせるエレガントな雰囲気、チリ伝統料理をインスパイアされたフレンチが好評だ



「The Singular Santiago」のエントランス。ザ・シンギュラーはスイートを含む全62室のブティックホテルといった感覚のホテルだ



エントランスホールにはスマートなドアマンが立つ



「Restaurant The Singular」はいくつかのセクションに分かれ、その間を縫うエレガントな回廊



エグゼクティブシェフのHernán Bassoが腕を振るうサンティアゴで屈指のレストランだ



筆者 小原 康裕
 国際ホテルジャーナリスト
 慶応義塾大学法学部法律学科卒。
 1974年 Munich Re 入社。
 2001年投資顧問会社原健設立、
 代表取締役 CEO。
 JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
 協会常務理事。
 SKAL International Tokyo、
 Professionnels du Tourisme 会員。
 JARC、日本宿泊施設関連協会
 アドバイザリーボードメンバー。
www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>



バー「Bar Merced」の脇に掲げられた「LHW」のロゴマーク

The Singular Santiago

ザ・シンギュラー サンティアゴ「The Singular Santiago」は、サンティアゴの旧市街と新市街の接点、お洒落なラスタリア地区に瀟洒な邸宅といった雰囲気で行っている。2014年に開業した新しいホテルだが、現代的な快適さとクラシカルなスタイルが融合し、館内エントランスホールや客室など古き良き時代を感じさせる空気が流れる。シンギュラー「Singular」という少々聞きなれない名称は、正にホテル名に反映されており、ゲストは「Singular = 唯一無二の」体験ができるという理念を示し、独自の経営コンセプトを表現している。

サンティアゴはチリ共和国の中央にある首都で、アンデスの山々に囲まれた標高543mの盆地に位置し、人口600万人が住む南米有数の経済都市である。スペイン植民地時代の面影を色濃く残す旧市街と高層ビルが立ち並ぶ新市街に分かれており、南米一の高さを誇り64階建てのグラントーレ・サンティアゴ「Gran Torre Santiago」の超高層ビルも存在する。また、新規のホテル開業が続き、Ritz-Carlton、Wホテル、Mandarin-Orientalなどのラグジュアリーブランドが進出を果たしている。

ザ・シンギュラーはスイートを含む全62室のブティックホテルといった感覚のホテルだ。今回はデラックスタイプの「The Singular



GMのAndrea Valencia 女史との会談。彼女の細やかな経営方針も相まって、家族的な雰囲気のホテル全体で感じ取れる



ホテルのある通りの名を冠したバー「Bar Merced」と住所番号を冠したカフェ「Cafe 294」が一体となったラウンジで、和やかな雰囲気を醸し出している



メインダイニング「Restaurant The Singular」の通り側の門扉



「Restaurant The Singular」に付属した中庭テラス席



9階のトップフロアには季節営業のプールと広々としたテラスがあり、近隣公園を一望する素晴らしい眺めも楽しめる



スイミングプールとリンクして、エクスクルーシブなバー＆ラウンジ「Rooftop Bar」も用意されている

Twin」を紹介したい。一見、何の変哲もないツインルームに感じるが、よく観察するとライティングデスクとお揃いの収納家具、什器備品類、ノスタルジックな絵画など自然と興味が湧いて来る。また、ベランダから近隣公園の樹木が美しく望めるのも嬉しい。メインダイニング「Restaurant The Singular」はパリの高級ビストロを思わせるエレガントな雰囲気、エグゼクティブシェフのHernán Bassoが腕を振るう、サンチアゴで屈指のレストランだ。エントランスホールはホテルのある通りの名を冠したバー「Bar Merced」と住所番号を冠したカフェ「Cafe 294」が一体となったラウンジで、和やかな雰囲気を醸し出している。スパ施設「The Singular Spa」は、サウナ、

ジャグジー、ジム、4部屋のトリートメントルームなど高い水準を維持している。9階のトップフロアにはエクスクルーシブなバー＆ラウンジ「Rooftop Bar」があり、季節営業のプールと広々としたテラスから街と近隣公園を一望する素晴らしい眺めも楽しめる。ザ・シングュラーはサンチアゴで唯一のLHW加盟ホテルで、極めてクオリティーの高いブティックホテルとしての独自性が際立つ。これらはGMのAndrea Valencia女史の細やかな経営方針も相まって、家族的な雰囲気のホテル全体で感じ取れる。また、チリ南部のパタゴニアには姉妹ホテルの「The Singular Patagonia」があり、ここも訪れてみたいプロパティの一つだ。



デラックスタイプの「The Singular Twin」のベッドルーム。一見、何の変哲もないツインルームに感じるが、よく観察すると機能的なライティングデスク、什器備品類、ノスタルジックな絵画など自然と興味が湧いて来る



ライティングデスクとお揃いの収納家具。モノトーンのスタイリッシュな組み合わせが秀逸である



付属のベランダから近隣公園の樹木が美しく望める



プロフェッショナルのスタッフがアドバイスするスパ施設「The Singular Spa」のレセプションデスク



スパ施設内のリラクゼーションルーム。サウナ、ジャグジー、ジム、4部屋のトリートメントルームなど高い水準を維持している